

ふるさと

7

vol.243
2018

JA秋田ふるさととは、新たな期待を創造します。



「改革」の歩みを加速 「安心」の地域社会へ
第20回通常総代会 全議案原案通り可決



いいねをいっぱい届けたい



あの時、君は若かった。

At that time you were young.

TOP 【トップエッセイ】 ESSAY

VOL.3

代表理事専務(金融共済担当)

佐藤 誠一

過去の広報誌から当時の思いと今の思い、
これから綴ります

農協では平成4年度青果物10億円販売の主力作物の一つとして、キャベツなど葉物類を位置づけ、1億円以上の販売額を見込んでいます。

葉物類は当地にとって、気候風土が適していることや、栽培技術も確立されていることに加え、最近では価格面で安定化するなど、好販売条件が整いました。また、本年度から県の露地型野菜育成事業の認定をうけ、作付け拡大の大きな弾みとなっています。

座談会では、作りやすいキャベツを主体に、西瓜・枝豆の後作として、秋とりに積極的に取り組んで行こうと、意見が一致。葉物類で高所得農業を実現しようと、夢をふくらませました。

佐藤 誠一さん (33)



醍醐・本堂在住。野菜出荷組合員。
稲作300%を主体に西瓜30%、葉物類はキャベツを主体に10%作付け。

思い起こせば旧農協マークから現在のJAマークに変わったのが平成4年でした。新しいJAマークにも慣れ親しんだ平成10年にJA秋田ふるさとの事業がスタートしたわけです。専業農家として広域JA誕生に大きな期待をしながら作業に汗したあの頃、私の経営は水稲、ぶどう、菌床しい苺を主に夏秋野菜をプラスしたものでした。菌床しい苺の導入理由は冬期施設利用と坪あたり販売額の高さからでしたが、平鹿きのこ培養センター利用組合設立当初からの仲間にも助けってもらい15年程続きました。

規模拡大を考えた時期もありましたが、技量伴わず栽培を断念した苦い経験もあります。現在は就農している息子がJAの主食用米増産方針を機に作付面積を拡大し良質米生産を目指しているところです。さてJA秋田ふるさとの不変の使命には地域農業を振興し豊かな地域社会を築くことがあります。生産振興無くしてJAは必要とされません。私の担当は信用、共済事業ですが、JAの使命を果たすために取り組んでいる事を忘れず「組合員の皆様の生産振興と暮らしに如何にして役に立てるのか」を考えながら事業してまいります。

農協だより「ひらかまち」

1991年11月号「シリーズ座談会 青果物10億円販売に向けて」より

1972年に平鹿町農協が誕生。1991年に合併20周年を迎え、翌年の4月1日、「平鹿町農協」から「JA平鹿町」に呼称が変わった。その7年後にJA秋田ふるさとに合併。再び20年の節目を迎えた。

答えは今日まで地域組合員の皆様そして役員諸先輩方が築かれた地域農業とJA秋田ふるさとの軌跡にあると思っております。過去を検証し、過去から学び「自分のこれからの人生で今日が一番若い事」を忘れないで日々前を向いて進んで行きたいものです。感謝の気持ちと謙虚さも胸ポケットにいれて。





長岩 将臣くん(増田・5歳)

両親(父・能央さん 母・美保さん)と祖父母、妹(迪花ちゃん)の6人家族。果樹園を営む将臣くんの家では、サクランボの収穫をしています。兄妹にとって恰好の遊び場になっている園地。二人は仲良く元気よく駆け抜けていきます。妹思いの将臣くん。誰にでも優しく強い男の子に成長していったね。



JA通信 ふるさと

July
7
2018

02 【トップエッセイ】
あの時、君は若かった。

04 「改革」の歩みを加速 「安心」の地域社会へ
第20回通常総代会

06 ニュース&トピックス【拡大版】

12 営農ワンポイントアドバイス

13 地元の高校生が行く！突撃！アグリレポート

14 農に生きる 安本果樹防除組合

16 レシピ

17 健康情報

18 まめなひと

19 JAを知ろう！学ぼう！

20 バラエティコーナー

22 インフォメーション

24 ふるさとの民話
JAの概況 編集後記



サクランボ

実桜の果実を指すサクランボ。和名を「桜桃」といい、明治初期に日本に伝わったといわれています。JAでは主力品種の「佐藤錦」をはじめ、「香夏錦」、「紅秀峰」などを取り扱い、7月中旬頃まで楽しむことができます。今年、管内産のサクランボは粒も大きく大豊作。つやつやと輝く色沢は、まさに「紅い宝石」です。ぜひ手に取って味わってみてください。



(撮影日 6月24日)



「改革」の歩みを加速 「安心」の地域社会へ

第20回通常総代会

全議案原案通り可決



J A秋田ふるさととは6月27日、通常総代会を秋田ふるさと村ドーム劇場で開き、各地区から選出された総代597人のうち501人（本人出席406人、委任状4人、書面出席91人）が出席しました。

議案審議に先立ち、執行部一任により議長に佐藤祐紀氏（大森地区）が選任され、議事を進行。第20年度（平成29年度）事業報告及び剰余金処分案承認の件や定款の一部変更の件、信用事業規程の一部変更の件、全国酪農業協同組合連合会への会員加入の件の4議案と附帯決議、特別決議を上げ。慎重審議した結果、いずれも原案通り可決、承認されました。

小田嶋契組合長は所信の中で「平成29年度は事業環境としては非常に厳しい1年だったが、事業量こそ組合員と農協の接点の厚さを示す指標として、事業量の伸長に努めてきた。昨年の不祥事で失ってしまった信頼の回復に全力を挙げて取り組むだけでなく、時代に合わせて事業のやり方を見直し、発展させることが我々の使命。今まで取り組んできた改革の歩みをさらに加速し、組合員の皆様が安心して営農を持続させ、暮らせる地域社会を継承していく」と決意を述べました。

事業報告のうち、信用事業では地域密着型を目指し、専任渉外の出向く体制の機能と他部門との連携を強化。貯金期末残高、貸付金期末残高いずれも計画を達

成しました。共済事業ではL A（ライフアドバイザー）を主力とした訪問推進や支店窓口対応を強化。昨年7月の記録的豪雨による自動車や住宅の浸水被害を受け、J A共済の必要性を再認識し、今年度も引き続き安心と満足を提供する活動を展開することとしました。販売事業では春先の日照不足、梅雨期の豪雨など厳しい気象経過のなかで、生産者が高品質農産物の出荷に努めた成果と迅速な情報伝達や関係機関の支援により減少率を最小限に抑え、販売取扱高179億9000万円（前年対比90・1%）を計上。購買事業では購買品供給高が計画対比100・6%の58億4500万円となり、今年度は農業生産コスト低減の提案を基本としたF A S Tや営農専任指導班の連携などによる指導購買を充実させることを打ち立てました。

なお、総代会に先立ち「第16回J A秋田ふるさと農業賞授賞式」を行い、地域農業の発展に貢献した金沢地区の安本果樹防除組合（嶋田鉄雄組合長）とフロンティア農業賞に増田地区の沼沢成悟さんが選出されました。

*当誌14ページ「農に生きる」に安本果樹防除組合、19ページ「J Aを知ろう！学ぼう！」に総代会の取材内容を掲載しております。「第20回通常総代会」詳細につきましては通常総代会資料をご確認ください。



(写真説明) ①小田嶋組合長 ②JA秋田ふるさと農業賞を受賞した安本果樹防除組合(事務局の高橋七右エ門さんが代理受賞=左)とフロンティア農業賞を受賞した沼沢さん(右) ③議長を務めた大森地区の佐藤氏 ④⑤⑥各議案に対して活発な質問・慎重審議がなされた



JAグループの自己改革実践の加速化に関する特別決議

わが国が人口減少、超高齢社会を迎えるなか、農業・農村は急速な世代交代に直面している。次世代への円滑な事業承継、新規就農、意欲ある農業者の経営発展がなされ、地域農業に携わる全員の参加・参画と活躍なしには、将来にわたって持続可能な農業・農村の実現はなしえない。

JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本項目に掲げ、その実現に向けた自己改革の取り組みを全力で推し進めてきた。

こうしたなか政府は、農協改革集中推進期間を定め、農協法に准組合員利用制限検討条項を設けるなど、JAグループの取り組み如何によっては今後とも政府主導による農協改革を打ち出すとの姿勢を崩していない。

こうした認識のもと、今こそJAグループは、組織の事業・活動を通じて、農業を一層魅力あるものとし、これを起点に消費者・国民の理解と支援のもと、農業・農村の展望を力強く切り拓いていかなければならない。

このため、我々は、下記の取り組みを最大限加速して実践していく。

記

1. 今後とも「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として、正・准組合員を対象とした総合事業の展開を通じ、3つの基本目標の実現に全力を尽くす。
2. 各JA、連合会、中央会は、自ら掲げた事業計画に従い、自己改革をやりぬく。
3. 組合員との徹底した対話をもとに自己改革の取り組みをすすめるとともに、組合員の評価と理解を得ることでJAグループの将来展望を切り拓く。
4. 自己改革の取り組み状況や成果について、幅広い国民各層からの評価の獲得をめざし、積極的な情報発信を強化する

以上、決議する。

平成30年6月27日

秋田ふるさと農業協同組合 第20回通常総代会



今月の組合員のみなさんの活動やJAの行事を、写真と記事で振り返ります。



▲調理しながら商品の活用方法を学んだ。「手軽に作れるから家でも試してみたい」と好評



▲大麦食について説明を受けた参加者



▲「米粉入りちぢみ」「大麦の恵みと水菜のツナサラダ」「健康ドーナツ」「おくらのとろとろスープ」

JAふれあいセミナー2018

おいしく健康に

エコープ商品の活用術学ぶ

JAは6月19日から27日まで管内5地区でエコープ品目研修会を開きました。JAふれあいセミナーの一環で、19日には平鹿支店で開催。JA女性部員や地域住民など30人が参加しました。

製粉メーカーの鳥越製粉株式会社営業部仙台営業所所長の大垣内秀明さんと(株)Aコープ北東北秋田支店の草薙乃里子さんを講師に迎え、同社の粉を「米粉入りちぢみ」や「健康ドーナツ」、ゆで麦を使った「大麦の恵みと水菜のツナサラダ」や雑誌「家の光」に掲載された「オクラのとろとろスープ」を参加者全員で調理し、試食しました。

調理後に大垣内さんが大麦食について解説。「水溶性食物繊維が豊富で整腸作用にも効果の高い大麦を食べて、生活習慣病予防に役立ててもらいたい」と参加者に呼び掛けました。



▲研修会で使用したエコープ商品

産地指定需給米生産部会通常総会 生消情報交換を図り 需要に応じた米生産を

産地指定需給米生産部会は6月11日、よこてシャイニーパレスで通常総会を開き、部会員や担当者など50人が参加しました。総会では前年度事業報告と今年度の事業計画について協議。米卸の(株)ヤマタネと連携して作付を進める多収性品種「萌えみのり」の栽培面積を今年度は241.5㍎(前年実績対比134.3%)に増反し、出荷契約数量目標を25,000俵(同145.4%)に設定しました。

また、今年度事業計画のうち、一昨年度から導入し、部会員の圃場に設置しているPSソリューションズ(株)の「農業IoT e-kakashi」を今年度は5か所に増やし、具体的な数値データと生育記録を照合させた検証を継続していきます。

同部会では生産数量目標の廃止に伴い、需要に応じた米生産を積極的に実践。生産地と消費地が相互の情報交換を図りながら選ばれる産地づくりを進め、生産者所得の向上を目指します。



▲斎藤孝悦部会長は「安定した収量を目指して頑張ろう」と呼び掛けた



▲「萌えみのり」の特性と栽培、生産販売状況について改めて確認した部会員



▲各生産部会長からは、費用負担の検証、効率的な集出荷体制の見直しを図るよう意見が挙がった



▲役員改選に伴い、きゅうり部会長の佐藤孝弘さん(中央)が会長続投。新副会長に西瓜部会長の佐々木徹さん(右)とときのご総合部会長の佐藤和さん(左)が就任

園芸振興連絡協議会 魅力ある産地づくり形成へ 振興策を検討

園芸振興連絡協議会は6月18日、よこてシャイニーパレスで第1回目の会議を開き、販売高1億円を超える園芸果樹生産部会の部会長やJA担当者など30人が参加しました。

会議では前年度の事業報告や今年度以降の園芸果樹振興に関する生産振興方策について確認し、意見を交わしました。

JAは昨年11月、横手市と園芸部門など多角的な農業経営の拡大による農業者の所得向上などを目的として「園芸作物振興に関する連携協定」を締結。魅力ある産地を形成し、若者が職業の一つとして農業を選択できるように支援環境の構築を目指し、2020年度を目途に販売高80億円を目標とした推進方策を展開します。

具体的にはJA専任指導員の資質向上や横手市実験農場と連携した良質苗供給、昨年12月に竣工したジュース加工所の整備充実化を図り、品目の生産振興に結び付けられるように「オール秋田ふるさと産」のPR方法を検討していきます。

農業法人連絡協議会研修会・全体会 地域の担い手としての 役割や連携を確認

農業法人連絡協議会は6月22日、今年度第1回目の研修会と全体会を開き、農事組合法人の代表や役員など67人が参加しました。県内の農事組合法人では60歳代が代表者を務める割合が高く、組織全体の高齢化が進み、後継者や労働力の確保などの課題解決が急がれています。そこで、研修会では農業の軽労化を図ることを目的として開発されたパワーアシストスーツの機能や実証、農業経営の健全化を目指す農業生産工程管理について学びました。

全体会では前年度事業報告や今年度事業計画について報告。地域の担い手として活躍する農業法人を持続的・安定的に発展させるために関係機関と連携して各種事業を展開することを確認。今後、税理士を講師に招いた決算書の見方に関する研修を実施することを検討しています。



▲研修会では参加者がパワーアシストスーツを実際に着用して性能を確かめていた



▲小西倉之助会長は全体会で「地域の連携を密にして一緒に頑張っていこう」と参加者に呼び掛けた



▲鈴木禎得総合部会長は「基本にのっとり、規格に沿った品質を生産しよう」と呼び掛けた



▲主要取引市場9社の担当者がそれぞれ販売方針について語った

花き販売対策会議 情報の共有さらに密に 物日に合わせた出荷を

花卉総合部会は6月15日、販売対策会議をよこてシャイニーパレスで開きました。全農や市場の担当者、部会役員など25人が出席。本年度の出荷計画を報告後、各市場や各専門部会の販売方針と取り組みを協議しました。

花き販売目標額の6割を占める菊部会は、8月と9月の物日に合わせた出荷を行うことや市場の要望に応える品種、品目の栽培を進めることなどを重点的な取り組みとしました。また、ユリ洋花部会では周年を通じた安定出荷を目指すと共に、県オリジナル品種「NAMA H AGEダリア」の栽培面積を増加させ、認知度の向上を図っていくことを目標としました。

各市場からは、物日に合わせた出荷を望む声が多く、情報の早期伝達と綿密さが有利販売につながるという声があがりました。

キュウリ販売対策会議 品質＝信用 高品質安定生産の継続を

きゅうり部会は6月19日、横手セントラルホテルで販売対策会議と目ぞろえ会を行いました。市場担当者や部会員など64人が参加しました。

販売対策会議では管内の作付状況や生育状況、販売対策について報告、協議しました。今年度の作付面積は農業法人の規模拡大により12.7％（前年度対比102.4％）となりました。生育状況については若干の生育の遅れが見えるものの、今後天候の回復と共に遅れを取り戻す見込みです。販売対策としては高品質安定生産に努め、出荷量1,000トン、販売額2億9000万円を目指します。

引き続き行われた目ぞろえ会では市場担当者による出荷基準の説明が行われ、判断の難しいキュウリの判別について情報の共有を図りました。



▲市場担当者の説明に耳を傾ける参加者

VOICE



販売計画の「出荷量1,000トン」「販売額2億9,000万円」に届く数字を残したい。市場からは需要と供給のバランスが取れているという話を伺ったので、今後の販売に期待している。

部会長 佐藤孝弘さん



▲目ぞろえ会では等級別規格や選果基準を説明



▲A品を手に取り品質を確認する参加者

トマト目ぞろえ会 管内生育良好 規格や選果基準確認

トマト部会は6月20日、金沢選果場で目ぞろえ会を開き、部会員やJA担当者など35人が参加しました。

生育は順調に推移し、果実の硬さや色まわりは良好。JA園芸課の小松智喜職員が、目ぞろえ会同日に初出荷を迎えた見本品を手に取り、等級別規格や選果基準について説明。部会員は製品写真と現物を見比べながら選果基準を確認しました。

同部会は今年度も予約相対取引を強化し、出荷量600トン、販売金額2億円を目指します。傳野猛部会長は「ピークに向け、目をそろえて出荷しよう」と部会員に呼び掛けました。出荷は7月下旬から盆にかけてピークを迎える見通しです。

ねぎ部会現地栽培講習会 施肥や土寄せ時期 排水対策徹底を確認

ねぎ部会は6月26日、増田地区と十文字地区の部会員の圃場2か所で現地栽培講習会を開き、部会員やJA担当者など20人が参加しました。講習会ではタキイ種苗株式会社と株式会社サカタのタネの担当者を講師に迎え、早生系品種の「ホワイトソード」や「夏扇パワー」の品種特性や今後の栽培管理について学びました。

管内ネギの生育は順調に推移していますが、東北地方の向こう3か月予報は高温で降水量が多くなる見込み。軟腐病など病害の発生が出やすくなるため、講師は「圃場に水が溜まらないように明渠を作るなど排水対策を徹底してほしい」と呼び掛けました。また、部会員は、生育を停滞させないように品種特性を理解した上で施肥や土寄せのタイミングを見極めることも確認しました。



▲品種特性や今後の管理について確認する部会員



▲いかに作業効率を上げるかなどの情報交換も行った



▲標柱や看板を確認しながら芭蕉の足跡を辿った



▲道中、熊野神社に足を止める参加者

歩こう会春編 「奥の細道」追体験 芭蕉訪れた象潟を歩く

JAは6月6日、「JA健康生き活き100歳プロジェクト」の一環で「歩こう会」を開き、86人が参加しました。同会は暮らしの中に運動を取り入れ、ウォーキングで生活習慣病の予防に努めようと実施するもので、毎年「春編」と「秋編」の年2回開催しています。

春編の今回は管内から場所を移し、「奥の細道 最北の地 芭蕉が歩いた散歩道」と題して、にかほ市の道の駅象潟「ねむの丘」から5.5^{キロ}の道のりを歩きました。参加者は芭蕉宿泊跡地や熊野神社、唐戸石など道中の史跡を見学。俳人松尾芭蕉の歩いた当時に思いを馳せながら「奥の細道」を追体験しました。

常連参加者の一人は「歩くことでその地の良い所を知ることができるから楽しみにしている。また参加したい」と笑顔で話していました。

旭小学校代かきドッジボール 楽しんで土作り 農業や環境の大切さ学ぶ

横手市立旭小学校は6月5日、同校の学校田で「代かきドッジボール」を開き、5年生児童58人が参加しました。田植え前に楽しみながら代かきを体験してもらい、農業や環境の大切さを知ってもらうことを目的に県南旭川水系土地改良区とJA青年部横手支部・金沢支部が共同で毎年開催。今年で21回目を数えます。

JA青年部員が講師役を務め、昔と現在の耕起と代かきの違いを解説。部員の説明を受けた児童たちは2チームに分かれてドッジボールを行い、泥の感触に歓声を上げながら白熱した試合を繰り広げました。

児童の一人は「初めて田んぼに入ってぬるぬるして大変だったけど楽しかった」と笑顔で感想を話していました。

代かきドッジボールの一週間後、同月12日には5月に種まきしたもち米を植えました。10月に稲刈り、12月に餅つきを行う予定です。



▲盛り上がりを見せた「代かきドッジボール」



▲ドッジボールの後にはウナギのつかみ取りも実施。田んぼに放たれたウナギに歓声を上げる児童たち



▲青年部員に教わりながら苗を植える園児



▲上手に土を掘る園児

青年部員が醍醐保育園児指導 おおきなあれ！ 園児が苗植え体験

JA青年部平鹿支部は、食育活動の一環として6月11日、社会福祉法人育童会醍醐保育園近くの圃場でサツマイモの苗植え指導を行いました。同園の「ゆり組」、「たんぼぼ組」の園児44人が参加し青年部員のアドバイスを聞きながら、小さな手で一生懸命苗植え作業を行いました。

指導にあたった同部の山田浩平副支部長は「天気が悪い中、園児たちは一生懸命頑張ってくれた。秋にはおいしいサツマイモを沢山収穫してほしい」と話しました。

同園では10月に年長組の祖父母を招待し、一緒に収穫体験を行う予定です。園児たちは「大きくなってね」と、秋の収穫を今から心待ちにしているようでした。



うどんこ病・炭疽病を 予防しよう！

【指導員】 園芸課 高橋 達也

これからますます気温も上昇し、夏本番。今回はいろいろな園芸作物に発生しやすい「うどんこ病」と「炭疽病」の特徴と予防対策について紹介します。

【うどんこ病】

○特徴

主に葉に発生する病気で、す。下位葉から発生し、うどん粉をまぶしたように白いカビが発生します。病勢が進むと植物全体が汚白色のカビで覆われ、生育が妨げられるだけでなく、葉が黄化して枯れあがることもあります。



▲キュウリの葉に発生したうどんこ病

発生しやすい環境としては、やや乾燥した条件で多く発生

します。直接雨の当たらない施設栽培で被害が多く、露地栽培では、夏季の高温乾燥時に多発する傾向があります。また、多肥の場合でも多発する傾向があります。

○予防対策

多肥（特に窒素）を避けましょう。
剪定（枝や葉の整理）を行い風通しをよくしましょう。
乾燥すると発生しやすいため灌水をしっかり行いましょう。通路等にも灌水を実施し適湿に努めましょう。

【炭疽病】

○特徴

植物の茎や葉、果実に発生する病気です。

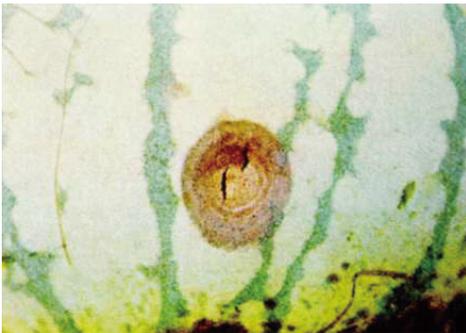
葉では丸い暗褐色の病斑を生じ、病気が進行すると中心



▲スイカの葉に発生した炭疽病

部がやくぼんで灰褐色になります。発病部が乾くと裂けたり破れたりします。

果実では、初めに小さな汚点が生じます。症状が進行すると徐々に大きくなり、病斑は暗褐色となり輪紋を生じてくぼみます。多湿のときには病斑上に淡紅色の粘質物を生じ、乾燥すると病斑に裂け目



▲スイカの果実に発生した炭疽病

○予防対策

剪定（枝や葉の整理）を行い風通しをよくしましょう。
前年度に発病した残さから菌の胞子が飛散する場合がありますので、残さについては丁寧に取り除き圃場の外へ持ち出し処分しましょう。
降雨や灌水が原因で土壌が跳ね返り、茎葉や果実に付着することで発生する場合もあります。定植時にマルチを張り、可能であれば通路等にも敷わら等の対策を実施しましょう。



病気の発生を完全に防ぐことは難しいですが、手を掛けてあげることである程度の発生を防ぐことは可能です。省コストにも繋がりますので、是非実践してみてください。

地元の高校生が行く！ 突撃！ アグリレポート

134時間目
「収穫最盛を迎えるトマト栽培を学ぼう！」



トマトをはじめとした
食材のおいしさや
農業の魅力を
もっと多くの人に
知ってもらいたいです！

初出荷直前の
畑の様子を見学



雄物川高校2年

高橋 峯さん

山下 耀さん

遠藤 夢射さん

年ごとに
天候が変化するため
臨機応変さが求められる
トマト栽培



かん水や施肥は機械で管理。
いつ、どのくらい流すのか
調整して行っている



根元近くに
かん水チューブが
入っています



収穫間近のトマト。
適期に収穫する
見極めが大事！



私たち雄物川高校家庭クラブは、大雄地区のトマト農家・大黒順一さんを訪問し、トマト栽培について取材しました。大黒さんは合計20区のハウスで3850本のトマトを栽培していて、東京などに出荷しています。

トマト栽培は非常に難しく、大黒さんは30年続けている現在でも「毎年1年生」とおっしゃっていました。トマトの生育適温は25℃で、暑すぎたり寒すぎたりすると実が割れるなどの障害が出てしまいます。特に今年は気温の差が大きく、調整が難しいそうです。また、首都圏に出荷しているため、消費者に届いたときにちょうど赤くなるタイミングで収穫しなければなりません。そのタイミングを見計らうのも難しく、経験を積んだ大黒さんだからこそできることだと思いました。その他、土壌分析を行って病気にかかりにくいようにしたり虫害対策も日々行っていたりと、おいしいトマトをつくるための大黒さんの努力を知ることができました。

夏のハウスの中の気温は42℃にもなり、そのような中で大黒さんは奥さんと一緒に1日も休まずに仕事をしています。受け継いでくれる若い人が少なくなってきており、年々農業をする人は少なくなっています。私たちは直接農業の勉強はしていませんが、色々な食材のおいしさや魅力を多くの人に伝え、若い人が農業に興味をもつきっかけになればよいと思いました。大黒さん、お忙しい中ありがとうございました。

農に生きる

安本果樹防除組合

■ 金沢



「防

除組合が無かったらこの地域の果樹農家もいなくなっていた」と語るのは組合長を務める嶋田鉄雄さん（76）。防除組合設立

前は個々で防除を行っており、園地を歩きながら手押しポンプで一本一本を防除していました。構成員の伊藤吉弘さん（79）は「手間もかかるし、農薬が自分にもかかるし本当に大変だった」と当時を振り返ります。効率よく散布ができるスピードスプレーヤーは数ある農業用機械の中でも非常に高価。個々の農家が気軽に購入できるものではありませんでした。一人ではできる事が限られてしまうが、みんなで力を合わせれば可能性は広がる。旧金沢農協からのアドバイスもあり、昭和38年、安本果樹防除組合を設立。みんなでお金を出し合い、管内で先駆けてトラクターで牽引するスピードスプレーヤーを導入。作業効率が一気に向上しました。

防除のスタイル

昭和57年には格納庫を建設。現在、防除組合の所有するスピードスプレーヤーは2台。6人のオペレーターが交代しながら防除にあたっています。オペレーターには兼業農家も含まれるため、基本的には会社が休みとなる土曜日に防除を行います。1日〜2日で全ての園地を一斉防除。一斉防除の利点はその地域に発生する病害虫の逃げ場を無くし一斉に駆除することで、高い防除効果が発揮できることにあります。事務局を務める高橋七右衛門さん（71）は「防除のタイミングを組合に一任されているので責任は重い」としながらも、徹底した予察による適期防除で、構成員からの評価は高く、その防除方針には確かな手ごたえを感じています。



1. 2. スピードスプレーヤーによる防除作業（撮影日5月20日）



スムーズな就農を後押し

安本果樹防除組合構成員の平均年齢は約65歳。定年後に本格就農する人が多く、定年に収穫期を合わせるように改植を進める人もいます。防除組合では50代の構成員を積極的に

役員に登用。「本格就農した際に周年の作業やスピードスプレーヤーの運転がスムーズにできるように、教えていくのも私たちの使命」と七右エ門さんは語ります。他産地にも積極的に視察に行き、情報収集は怠りません。「私自身が退職後に本格的に始めたタイプなので、常にアンテナを張り巡らせて興味を持って取り組んでいます」と七右エ門さんは笑います。

存在が支えに

「小面積の農家が安心して栽培に専念できる」と語るのは構成員の高橋喜悦さん（72）。喜悦さんはリンゴ19アールのほか、スイカ35アールを夫婦二

小さい面積だからこそ、協力してやっています。

人三脚で営農しています。「栽培面積が大きくないので農業機械の購入には躊躇してしまふ。個人での防除には時間も労力もかかるため、防除組合には本当に助けられている」と、その存在に支えられています。

協同とは

担い手となる果樹農家の育成や適期防除による高品質安定生産の実現などが評価され、安本果樹防除組合

は今年、第16回「JA秋田ふるさと農業賞」を受賞しました。

「私たちは『協同の精神』で活動している。それは設立当時から変わらない」農家の高齢化が進む中で防除組合が果たす役割は大きいと嶋田組合長は語ります。

作りたい。その思いがみんなの心の中にある限り、安本果樹防除組合が歩みを止めることはありません。



3. 4. 摘果作業も終盤戦。取りこぼしがないか丁寧に確認する七右エ門夫妻（撮影日6月18日）

5. 作業のほとんどを息子に譲り、防除組合の牽引役に専念する嶋田組合長（撮影日6月18日）



安本果樹防除組合

- 設立 昭和38年
- 栽培品目 リンゴ：680 a
- 構成員 36名（認定農業者5名）

今月は

パプリカ



パプリカの特徴

近年、スーパーマーケットの野菜売り場でもよく見かけるようになったパプリカ。昔は見かけることは無かったと思う人も多いと思いますが、それもそのはず。日本への輸入が解禁されたのは1993年と、日本での歴史はまだ浅い野菜です。日本で出回るパプリカの約8割は海外から輸入されたもので、1年を通じて手に入れることができます。

パプリカはその姿形からわかる通りピーマンの仲間で、ナス科トウガラシ属に属する野菜です。果肉が厚く、甘みがあるのが特徴。色は赤やオレンジ、黄色が良く売られています。黒や紫色のものもあります。生のままでも加熱調理しても美味しいです。

食卓に彩りを添えてくれるパプリカ。毎日の食卓に取り入れてみてはいかがでしょうか。

【パプリカのツナグラタン】



「キッチン晴人」の
オーナーシェフ

ながい ともかず
永井 智一

1975年茨城県水戸市生まれ。高校卒業後、都内のすし店で修業後、帰郷し懐石料理を学ぶ。2013年12月に畑とつながるをコンセプトとした「キッチン晴人」をオープンし、地元農産物を生かした料理を提供中！

point

フライパンで焼くときは、中火でじっくりと焼くと甘味が引き出せます。

- ①パプリカは縦4等分にして種を取り除く。
- ②ボウルに油を切ったツナを入れ、合わせ調味料などを混ぜ合わせる。
- ③①に混ぜ合わせた②を載せ、オリーブ油を入れたフライパンで焼き色を付ける。
- ④予熱したトースターにアルミホイルを敷き、③を5分焼き、パン粉とパルメザンチーズを掛け1分焼く。
- ⑤仕上げに、こしょう・パセリを振って出来上がり。

● 材料 (4人分)

- ・パプリカ (赤・黄) 各1個
- ・ツナ缶 (70g) 3缶
- 合わせ調味料など
- ・マヨネーズ 大さじ2
- ・白みそ 大さじ1
- ・トマト (みじん切り) 大さじ1
- ・タマネギ (みじん切り) 大さじ1
- ・オリーブ油 適宜
- ・パン粉 適宜
- ・パルメザンチーズ 適宜
- ・こしょう 適宜
- ・パセリ 適宜

健康情報

食中毒に気を付けましょう

平鹿総合病院 栄養科
鈴木 真澄



夏本番、暑くなりました。今年の長期予報では例年より猛暑日が多くなるようです。気温が高くなると、食品衛生が気になります。

日本全国で1年間に起こる食中毒は約千件、患者数は約2万人です。

食中毒の予防には「つけない」「ふやさない」「やっつける」の3大原則があります。「つけない」は洗う、分けることが大切です。調理前やトイレの後、おむつ交換や動物を触った後などは必ず手を洗いましょう。トイレの後やおむつ交換の後は2回手洗いをお勧めします。また、生の肉や魚などを調理したまな板は、加熱しないで食べる野菜などへ菌がつかないように別のものを使うか、よく殺菌してから使いましょう。

「ふやさない」は低温での保管が効果的です。細菌の多くは高温多湿な環境で増えますので、夏場は特に買ってきた食材はできるだけ早く冷蔵庫に入れましょう。また、冷蔵庫に入れても細菌はゆっくりと増えていきますので、冷蔵庫を過信せず早めに食べることも大切です。

最後の「やっつける」は加熱処理です。ほとんどの菌やウイルスは加熱によって死んでしまいますので、食品はしっかりと加熱して食べることが大切です。食品だけでなく調理器具も使った後は洗剤でよく洗い、熱湯での殺菌やハイターなどの塩素での殺菌も効果があります。

食中毒は「洗ったつもり」「加熱したつもり」でも菌が残っていることがあります。美味しく安全な食事のためにしっかりと予防しましょう。

あめな ひと

会話を大事に家族をサポート

元気なお年寄りをご紹介します。

【横手】 松井 チヨノさん (84)



23歳の時、松井家に嫁いだチヨノさん。家事や農業のいろはを義母から教わりました。「なんでも丁寧に優しく教えてもらった。本当の子どものように可愛がってもらった」と当時を振り返ります。義母に連れられ、朝市での販売を経験。「品物を買ってもらうんじゃない。人間を買ってもらうんだ」——これが義母から教えられた、商売をする上での心構えです。義母から掛けてもらった言葉のようなことはしない。そして会話をすること」とチヨノさん



んは語ります。お客さんの興味を引き、手に取ってもらう。そして買ってもらえたらサービスも欠かさない。こうして固定客を掴み、周囲の誰よりも早く完売させたチヨノさん。朝市での販売は75歳まで続けました。自身の子どもが大きくなってからは10年ほど編み物の仕事もこなしたチヨノさん。「同じ時間働くならもっと稼いだい」という思いから周囲よりも1割から2割ほど多くの収



入を得るなど負けず嫌いな一面ものぞかせます。

松井家は現在7人、4世帯暮らし。チヨノさんは畑仕事に精を出し、草むしりを率先して行うほか、娘の良子さんと一緒にたすの接ぎ木の作業に当たります。良子さんは「作業のスピードはまだまだ母にかなわない」と、母に尊敬の眼差しを向けています。それでもチヨノさんは常に一歩引いた立ち位置を意識しており、「娘夫婦の考え方ややり方があるだろうから、余計な口出しはしない。もちろんわからないことがあれば

教えるけどね」と優しく見守ります。

そんなチヨノさんの楽しみは「湯治」。年に1度、10日程温泉施設へ滞在します。「知人が毎年誘ってくれるのが嬉しいし、家族も快く送り出してくれるから感謝している」と笑顔で語ります。家族円満の秘訣は「家族同士が協力し合うこと。そしてたくさん会話すること」と話すチヨノさん。共に支え、支えられ、今日も家族に笑顔の輪が広がっています。

を 知ろう！ 学ぼう！

意外と知らないJAの仕事
JA新採用職員が密着します。

総代のみなさんが
集まってきました！

今回は、「通常総代会」に
密着します！

総会（総代会）とは 組合の意思を決定する最高機関

組合員500人以上の組合では、総会に代わる
総代会を設けることができます。総代は選挙に
よって選出し、その定数は正組合員総数の5分
の1以上でなければなりません。正組合員が
2,500人を超える組合では500人以上であれば
よいことになっています。当JAの総代は現在
597人です。

受付も体験！

十文字支店 高橋一彰

総代会には通常総代会と
臨時総代会が
あります。
通常総代会では主に
前年度の事業や決算事項に
ついて報告し、総代の
みなさんに決定を
求めます。

JA秋田ふるさとでは
毎年6月に通常総代会を
開催しています。

組合員のみなさんとJA
双方にとって重要な意味を
持った会なんです！

議長

説明者

集計係

総務企画部次長兼 総務課課長
新山 喜一郎

議案によって
普通議決と
特別議決があります

※普通議決…出席者の過半数の賛成で議決
※特別議決…正組合員の半数以上が出席し、
その3分の2以上の賛成で議決

③採決

②質疑応答

①議事

組合員のみなさん
あつてこそJA事業運営に
つながっていきますね

総代のみなさんに
「総代会」への思いについてうかがいました！

- ・「組合員の代表」という意識を持って
参加している
- ・JA事業を知れる貴重な機会
- ・勉強の場になっている
- ・組合員の意見を反映させることが
総代の使命

総代会の流れや
雰囲気を知ることが
できてとても有意義な
時間を過ごすことが
できました！

取材させていただきありがとうございました！



今月のテーマ：『暮』

わたしの川柳！

- 喜んで
はしやぎ過ぎて
疲れぎみ
P.N 周のバアバさん(平鹿)
- 今が旬
桜桃で喜ぶ
腹の虫
小松 勇一さん(十文字)
- 苦勞して
蒔けば喜ぶ
花が咲く
P.N ひまつぶしさん(雄物川)
- 喜寿祝い
歌も踊りも
十八番
P.N 清風さん(増田)

● 優秀作品

- 今月の最優秀作品
孫生まれ
我家に喜び
あふれてる
P.N スパルタママさん(雄物川)



楽しい川柳作品をお待ちしております。最優秀作品には、素敵な記念品を進呈！
【8月号のテーマ】「夏」 【応募方法】 ハガキに川柳作品（パズルにご応募の方はその答えも）のほか、次頁下段の応募方法①～⑥をご記入の上、ご応募ください【応募先】〒013-0036 横手市駅前町6-22 総務課 広報担当【応募締切】7月25日(休当日消印有効) <作品をご応募いただく皆さまへ> 掲載された作品を横手かまくらFMにおいて毎月第4水曜日午後12時15分頃より(変更あり)ご紹介させていただいております。作品と投稿者名(地区は除く)をご紹介しますので、ペンネームでのご紹介をご希望の方は必ず記載してください

応募作品数…14作品
■お孫さんが誕生した喜びをストレートに表現していますね。スパルタママがデレデレばあばになるのでしょうか。

おたより

●主人は退職後、毎年JAの健診を受けています。6月号の「健康診断結果を分析しよう」はとても参考になりました。幸いにどこも異常なく、ホッとしています。秋田県は健康寿命を延ばすことに取り組んでいますので、家でも塩分の取り過ぎに注意しています。県南は特に漬物が美味しいので困ります。
／雄物川 S・Sさん(66)

漬物、美味しいですね。大皿に盛られていると無くなるまで食べてしまいます。

●クロスワードパズルの答えにもなっている「トケイソウ」とてもきれいですよ。柱時計のように針もあるように見えますよ。冬越しも出来ます。
／大森 S・Oさん(65)

実は今回のクロスワードで初めて「トケイソウ」の存在を知りました。本当に時計にそっくりです！S・Oさんは育てたことがあるのでしょうか。本物の花も見てみたいです♪

●6月号の景品、とてもいいですね。はずれた場合、どこで売っていますか。教えてください。
／平鹿 L・Sさん(67)

プレゼントは(株)アクアスさんで取り扱っている商品になります。今年度の景品は私が個人的に欲しいと思ったものが中心になっています。

●ふるさとの民話で、最近使わなくなった方言があちこちに出てくるので、これを基に家族で昔話に花を咲かせています。佐々木さんの挿絵も「ほんわか」していいですね。これからも楽しい話を期待しています。
／十文字 K・Mさん(68)

祖父母が存命の頃は家族間の会話は方言であることが普通でしたが、現在は方言を使う機会が減ってきていると私自身感じています。民話を通して当時に思いを馳せるのもいいものですね♪

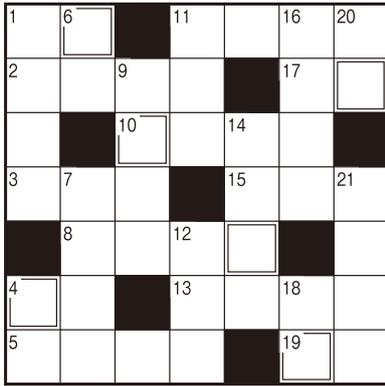
●「LA」「MA」初めて知りました。おしゃれな名前ですね。
／横手 K・Tさん(61)

LA・MAは、皆さんに安心と満足を届けられるよう、日々活動しています。貯金や共済に限らず、お気軽になんでも相談してみてくださいね♪

管内の風景写真や自慢の逸品、珍野菜など、みなさんの「作品」を募集しています。ご応募は当JAホームページにある専用フォームからお寄せ下さい。(携帯からは、以下アドレスへ) 掲載者には、素敵なプレゼントを差し上げます。
メール【wg-koho@akita-furusato.or.jp】

クロスワードパズル

和え物やおひたしにピッタリ！



【解き方】 全部の問題を解き二重枠の文字を並べ替えると一つの言葉ができます。それが答えです。

↓ タテのカギ

- 1 酒を飲むための小さな器
- 4 整形——で膝の関節を診てもらった
- 6 料理をのせます
- 7 今度来た新人は仕事の——が早いね
- 9 ラストスパートです
- 11 本能寺の変を起こした——光秀
- 12 乱れたものをきちんと直すこと
- 14 親から子へ受け継がれます
- 16 こういうことはここじゃあ日常——だよ
- 18 虫をよけるため布団の周りにつります
- 20 アウトの反対語
- 21 サッシと呼ばれることも

→ ヨコのカギ

- 1 七夕の飾りに使う植物
- 2 歌うことを楽しみに行きます
- 3 シイタケ、シメジ、エリンギなど
- 4 お酒が飲めません
- 5 ビカッ、ゴロゴロゴロ
- 8 音を遮断したいときにはめめます
- 10 社会の——として地域に貢献する
- 11 カタツムリが似合いそうな花。鎌倉の明月院は——寺と呼ばれます
- 13 輪島市や加賀市や金沢市はこの県の市
- 15 鎖国中にも貿易が行われた場所
- 17 書類や伝票につきます
- 19 俳優が演じたり入り込んだり

ミッキーカラフルクレヨン
ギフトセット
3名様にプレゼント！



冷蔵保存から
加熱までできる
保存容器付き！

(J A 秋田ふるさと総務課広報担当 行)

①クロスワードパズルの答え

--	--	--	--	--	--

②住所

〒 _____

③氏名 (P.N.)

④年齢 _____ 歳 ⑤電話番号 _____

⑥当誌の受け取り場所 _____

⑦今月の好きな記事とその理由
または当誌やJ Aへのご意見・ご感想

【応募方法】 川柳もこちら！

ハガキに左記①～⑦までの項目をご記入の上、下記までご応募ください。左の点線を切り取って管内最寄りの支店まで持参いただくかハガキに貼り付けてもご応募できます。なお、お寄せいただいたご意見は「おたより」のコーナーにて回答させていただきます。ご協力ありがとうございます。

【応募先】

〒 013-0036 横手市駅前町 6-22
J A 秋田ふるさと総務課広報担当 または J A 秋田ふるさとホームページ <http://www.akita-furusato.or.jp/> からでも OK。
「みなさんの声と作品をお寄せください」バナーをクリック！

【締 切】

7月25日(水)当日消印有効



- 6月号の答え／トケイソウ
- 6月号の当選者／
- P. N. ばばちゃんさん
- P. N. アップルボーイさん
- P. N. はっちゃんさん
- 応募総数／54通
- 正解者数／43通

ちよ JAから貯っといい夏!
サマーキャンペーン2018

好評実施中!

定期貯金(1年もの)キャンペーン金利

年0.1%
(税引後0.079%)

■年金振込
■給与または農産物販売代金振込
■公共料金口座振替 ■JAカード
■個人ネットバンク

いずれかの契約のある方(同時契約可)

【お申込み・お問い合わせ】金融課 または各支店窓口

キャンペーン期間 平成30年 **6/1**金 ~ **8/31**金 まで

LION x CHORIS 食器用洗剤
HELMi x CHORIS Magica
フードコンテナ いすれかに1プレゼント

**糖尿病が心配な方、
ご興味のある方必見必聴!**

**平鹿総合病院
「糖尿病教室」を開催します**

日時/7月27日(金) 11:30~13:30

会場/平鹿総合病院2階 講堂

内容/「くすりについて」
「認知症と糖尿病」

参加費/800円(昼食代)
※当日の集金になります

申込/開催日の1週間前まで下記のお問い合わせ先にご連絡いただくか、消化器・糖尿病内科の外来窓口にお申し出ください。

昼食はカロリーや塩分を計算したお弁当です!低カロリー・薄味でもおいしいお食事のポイントを実際に目で見て食べて勉強しましょう!

お問い合わせ/
平鹿総合病院リハビリテーション科 事務
TEL 0182-32-5253 (受付時間9:00~13:00)

**平成30年度 JA秋田ふるさと杯
組合員親睦ゴルフ大会**

JAでは組合員、地域住民相互の親睦を図るため標記大会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時/9月7日(金) 7:00スタート

開催場所/羽後カントリー倶楽部

プレイ代/メンバー6,700円 ビジター7,500円
(お食事・ワンドリンク付)

※セルフでの料金となります。

キャディ:ハーフ(INのみ)は別途(1,400円)申し込みが必要です

会費/3,000円

表彰式・懇親会/シャイニーパレス5階 18:30~

申込方法/ふるさとメール回覧用の参加申込書にてお申し込みください

申込期限/8月1日(水)

※定員になり次第締め切ります

【お問い合わせ】

JA秋田ふるさと 総務課ゴルフ大会事務局

TEL 0182-35-2634

参加申し込み受付中!

**JA健康診断事後指導
および相談会**

JAでは「健康生き生き100歳プロジェクト」の一環として標記行事を開催します。

健診結果を持参していただいた方に保健師・管理栄養士がアドバイスを致します。

また、低カロリーのお菓子の試食も行いますのでJA健診を受診の方はぜひご参加ください!

開催日・会場/

7月13日(金) JA雄物川集出荷所2階

7月17日(火) JA横手支店2階

8月22日(水) さかえ館

10月23日(火) JA雄物川集出荷所2階

10月24日(水) JA平鹿支店2階

すべて13:30~開会です

お申し込み・お問い合わせ/

最寄りの営農センター生活担当



理事会だより

【臨時理事会】

平成30年6月12日(火)開催

議案(抜粋)

■第20回通常総代会提出議案について

【第3回定例理事会】

平成30年6月27日(水)開催

議案(抜粋)

■平成30年度JA秋田ふるさと米穀
共同計算委員の選任について

■業務報告書および連結業務報告書の
行政庁への提出について

報告事項

■平成28年産米最終精算について

■農畜産物の生育及び販売状況について

職員人事異動のお知らせ

下記の通り、人事異動をお知らせし
ます。()は旧任部署

【6月29日付】

◆金融課 平鹿病院出張所
高橋 梨紗(金融課)

退職者のお知らせ

下記の職員が退職いたしました。
大変お世話になりました。

【6月30日付】

佐藤 俊寿(営農企画課)
柴田 笑衣(平鹿支店)

葬儀に関する不安や悩みはございませんか？

お葬式・法要の

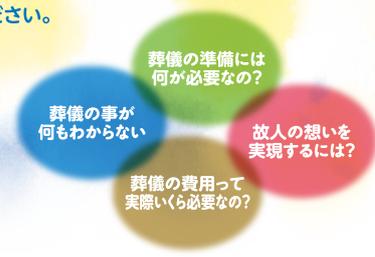
**無料事前相談
実施中**

(株)ふるさと葬祭アグレム
TEL/0182-52-3930

ご家庭の精神的・経済的なご負担を軽減したり、少しでも安心して頂くために、
どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。

訪問相談も承っております。
手順はとても簡単です。

- ①まずは52-3930までお電話ください。
- ②「訪問相談希望です」とお伝えください。
※訪問日時を決めます。
- ③お約束の日時にスタッフが伺います。



HP/https://ja-sousai-agulemu.com/

住宅ローンセミナーのお知らせ

第22回 JA秋田ふるさと
「住宅ローンセミナー」開催

住宅購入や住宅ローンなどについて
知りたい情報がいっぱい!!
他行からの借換を
ご希望の方もOK!

最 **トクする!** 新

— 住宅ローンの上手な借り方、返し方実践講座 —

住宅ローンセミナー

あこがれのマイホーム。ふくらむ夢と同時に大切なのは資金計画。
そこで新築や建て替えをお考えのご家族に「最新!トクする住宅ローンセミナー」の
お知らせです。限度額、返済額などをその場で試算。
具体的な資金計画がクリアにわかります。また、個別相談では住宅ローンの返済計画
を試算・アドバイスいたします。ぜひこの機会にご参加ください!

■主催/JA秋田ふるさと ■協力/農林中央金庫 秋田支店

日程・会場 **平成30年 8月5日(日)**
よこてシャイニーパレス 5階 会議室

時間など セミナー 午前10時30分~(午前10時より受付開始)
「住宅ローンの上手な借り方、返し方」
講師/農林中央金庫 秋田支店
個別相談会 午後1時~ 住宅ローンについて、専門スタッフが個別にご相談を承ります。

お申込締切 **平成30年 8月1日(水)**
※定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

お申込み・お問い合わせ **JA秋田ふるさと ローンセンター**
TEL.0182-38-8601 FAX.0182-38-8602
E-mail:kn-suisin@akita-furusato.or.jp
または、最寄りの支店・出張所へお申込ください。【お申込受付時間】月~金 午前9時~午後5時

なお、当日ご参加できない方につきましては、ご連絡をいただければ別途ご相談を承りますので、お気軽にお問い合わせください。

●金沢支店 ☎37-2122 ●横手支店 ☎32-1331 ●平鹿病院出張所 ☎36-1417 ●山内支店 ☎53-2121 ●平鹿支店 ☎24-2331
●雄物川支店 ☎22-3240 ●大館支店 ☎52-2511 ●大森支店 ☎26-2059 ●十文字支店 ☎42-1011 ●増田支店 ☎45-2030
※各中心の情報は、電話・FAXまたはE-mailにてお申しください。その際住所・氏名・年齢・連絡先電話番号と参加人数をお申し出ください。なお、個人情報につきましては、参加者名簿以外の目的で使用いたしません。

詳しくは当JAのホームページをご覧ください。(http://www.akita-furusato.or.jp)

【お問い合わせ】融資課 ローンセンター TEL 0182-38-8601

観音様の籠っこ

●再話／中川文字 ●画／佐々木愉美子

昔むがし、大層た怠惰だ若者えだけど。「仕事はしでやぐねや。美味や物は食いでや。毎日酒飲んで寝でいでや」なんて考えでる愚者だつたど。観音様のお堂っこさ二十一籠って「観音様、観音様、どうが毎日寝でも食っていげるえた運、授けでけれ」なんて、本気で押んでるなだけど。観音様「お前みでやえた呆れた若者、見だごどねや。したどもあんまり熱心に拜むがら、一つだけ福授ける」って言って、表が黒くて裏が赤ぎや木の籠っこ授げだけど。「この籠っこの、どごが尊でやなよ」って聞いたば、「黒い方で鼻撫でればズンズンど高ぎやぐなるし、赤ぎや方で撫でればズンズンど低くなる。これで福呼べ」って言って消だけど。早速、黒い方で自分の鼻撫でだば、

ズンズンど高ぎやぐなつたけど。今度な、逆様にして赤ぎや方で撫でだば、ズンズンど低くなつて元の団子鼻さ戻つたけど。

若者、「これで一儲けするべ」って思って長者の屋敷の回りうろついでだば、長者の嬢様っこ、戻つて来たけど。こそと近づいで、後ろがら鼻撫でだど。したば、ズンズンど鼻伸びできたけど。動転して家さ駆げ込んで、オエオエど泣き出したけど。長者、医者呼んで診でもらつたども、原因わからねやがったど。

若者、八卦おきさ化げで「俺らの八卦、どんたごでも当たる」って言って屋敷さ上がり込んだけど。藁をも掴む思いの長者、「何んじが頼むんし」って言って、嬢様っこの寢床さ案内したけど。若者、六尺屏風立で



で「祈祷覗ぐ者あれば、効き目は消える」って言って、人払いしたんだど。それがら「ごによごによ」ど呪文唱えながら籠っこの赤ぎや方で鼻撫でだば、みるみる元通りになつたけど。長者は喜んで、じつぱり褒美はずんだけど。若者、褒美で願い通りに暮らしてだども、段々え退屈になつてきたけど。

横になつてテラテラど自分の鼻撫でだばズンズンど伸びで、火事場さ届いでしまつたけど。熱ちして熱ちして、元さ戻すどって慌だいだ若者、黒い方で撫でしまつたんだど。鼻の伸びる勢いで体ごと引張られでしまつた若者、焼け死んでしまつたんだど。とっぴんぱらりのふう



▲QRコードを読み取ると音声で「ふるさと民話」をお楽しみいただけます。

編集後記

白い標柱の前を通り過ぎると目で追ってしまふ癖があります。特にここ最近「菅江真澄の道」が大半を占めています。菅江真澄は江戸時代後期、現在の愛知県に生まれた国学者・旅行家。東北を訪れ、管内で見聞したことも「雪の出羽路 平鹿郡」に文や絵で記しています。驚くべきは彼のフットワークの軽さ。「歩こう会」取材で象潟を歩くと、そこにも彼の足跡を示す標柱が。自分の取材にはまだまだ「歩き」が足りないと思感しました。(き)

サッカーのW杯が行われています。これを書いている現在、日本がグループリーグを突破した所です。私は熱狂的なサッカーファンではありませんが、オリンピックと同じように4年に1度の祭典という事でつい見えてしまいます。日本代表は開幕前から「おっさんジャパン」と揶揄されていましたが、30を少し過ぎれば「おっさん」なかと衝撃を受けました。私も今年で31。同じ歳のメッシに負けないようにこれからも頑張ります。(み)

JAの概況

Situation

組合員数	17,658人
（正組合員）	12,843人
（准組合員）	4,815人
貯金	1038億2448万円
貸付金	328億7869万円
購買品供給高	16億5211万円
販売品販売高	5億5953万円
共済保有高(保障)	4090億4039万円
(2018年5月末現在)	

JA通信 ふるさと

発行／秋田ふるさと農業協同組合
企画・編集／総務課 〒013-0036秋田県横手市駅前町6番22号
印刷／(株)全農ビジネスサポート秋田支店

TEL／0182-35-2630
FAX／0182-35-2701
E-mail／fu.staff@akita-furusato.or.jp

秋田ふるさと

検索

検索サイトでJAのホームページに簡単アクセス！

